【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第４部門第１区分
【発行日】令和6年5月21日(2024.5.21)

【公開番号】特開2023-53678(P2023-53678A)
【公開日】令和5年4月13日(2023.4.13)
【年通号数】公開公報(特許)2023-069
【出願番号】特願2021-162861(P2021-162861)
【国際特許分類】
Ｅ０４Ｄ 15/00(2006.01)
Ｅ０４Ｈ　6/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ｅ０４Ｄ 15/00　　Ｅ
Ｅ０４Ｈ　6/02　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和6年5月13日(2024.5.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
簡易構造物と、折板の施工治具とを備え、
簡易構造物は、前後方向に離隔して立設された前側支持フレームと後側支持フレームを有し、
前側支持フレーム及び後側支持フレームは、一対の柱と、柱の上端に架設された梁と、梁に取り付けられたタイトフレームをそれぞれ有しており、
施工治具は、タイトフレームを前後方向に跨ぐ溝状部を有するベースと、ベースの上部で前後方向に回転可能に支持され且つ折板の複数の谷部を載置可能な長さのローラーを有しており、
次の工程を有することを特徴とする折板屋根を有する簡易構造物の製造方法。
（１）施工治具を前側支持フレーム又は後側支持フレームのいずれか一方の支持フレームのタイトフレームを跨いで着脱自在に取り付ける工程。
（２）折板を一方の支持フレームの一方側の下方から持ち上げて施工治具のローラーに載置し、他方側へ送り出すことで前側支持フレーム及び後側支持フレームの上方間に架設する工程。
（３）施工治具を一方の支持フレームの梁の長手方向に退避させる工程。
（４）上記（２）（３）工程を繰り返すことで前側支持フレーム及び後側支持フレームに複数の折板を架設する工程。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
本発明の折板屋根を有する簡易構造物の製造方法は、簡易構造物と、折板の施工治具とを備え、簡易構造物は、前後方向に離隔して立設された前側支持フレームと後側支持フレームを有し、前側支持フレーム及び後側支持フレームは、一対の柱と、柱の上端に架設さ

れた梁と、梁に取り付けられたタイトフレームをそれぞれ有しており、施工治具は、タイトフレームを前後方向に跨ぐ溝状部を有するベースと、ベースの上部で前後方向に回転可能に支持され且つ折板の複数の谷部を載置可能な長さのローラーを有しており、次の工程を有することを特徴とする。

（１）施工治具を前側支持フレーム又は後側支持フレームのいずれか一方の支持フレームのタイトフレームを跨いで着脱自在に取り付ける工程。

（２）折板を一方の支持フレームの一方側の下方から持ち上げて施工治具のローラーに載置し、他方側へ送り出すことで前側支持フレーム及び後側支持フレームの上方間に架設する工程。

（３）施工治具を一方の支持フレームの梁の長手方向に退避させる工程。

（４）上記（２）（３）工程を繰り返すことで前側支持フレーム及び後側支持フレームに複数の折板を架設する工程。